

# ●▲ みねのぶ

金八



報徳講習会開催（平成28年10月31日／農協三階大会議室／講師の中桐万里子氏）

■発行日/平成28年12月1日/No.1376号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

**2回女性セミナー  
料理講習会開催**

11月13日、J A 女性部が峰延中学校家庭科室を借りて女性セミナーを開催しました。女性部役員が講師となり、女性部員15名とフレッシュミズの会員5名が参加し、新米を味わう料理講習を行いました。

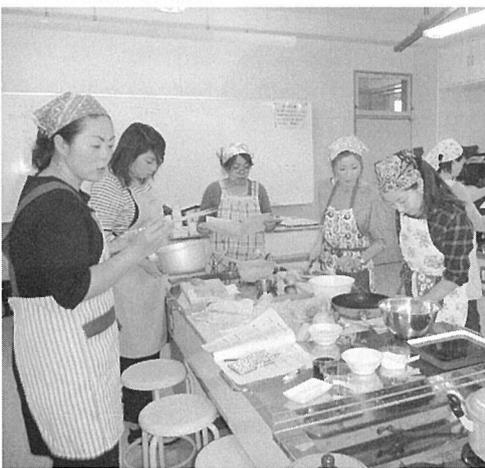
女性部の役員で献立を考え、レシピを作成し、食材となるお米と野菜は役員宅で収穫されたものを提供してもらいました。

黒千石大豆を使った酢ご飯、鮭の甘酢あんかけ、大根とかいわれ菜のサラダ、いもの団子汁、かぼちのピザ風、黒豆の煮汁寒天の6品を5班に分かれて調理、2時



間ほどで作り終えました。黒豆の煮汁寒天の煮汁は酒巻洋子さんが事前に作り、当日持ち込んでくれて調理時間を短縮することができました。

今年度もフレッシュミズが参加し、お互いに交流することができ、有意義なセミナーとなりました。



**第3回監事監査終わる**

本年10月末日を基準日とする第3回監事監査が11月16日から18日までの日程で、浅香代表監事以下3名の監事により執行されました。本年度事業の第3四半期における事業進捗状況及び会計処理等について精力的に監査を行い、最終日に常勤理事、各課長に対して監査講評が行われました。

**おくやみ申し上げます**

森谷 邦男さん (61歳) 10月29日 美唄市豊葦町二区

橋場 はなさん (97歳) 11月4日 美唄市豊葦町二区

岩間 啓一さん (76歳) 11月7日 美唄市峰延町峰樺二区

永谷 昭治さん (86歳) 11月8日 美唄市光珠内町二区

池田良四郎さん (94歳) 11月13日 美唄市豊葦町四区

村山 章夫さん (77歳) 11月15日 美唄市光珠内町南

**一報徳一**

**まず労力を譲る**

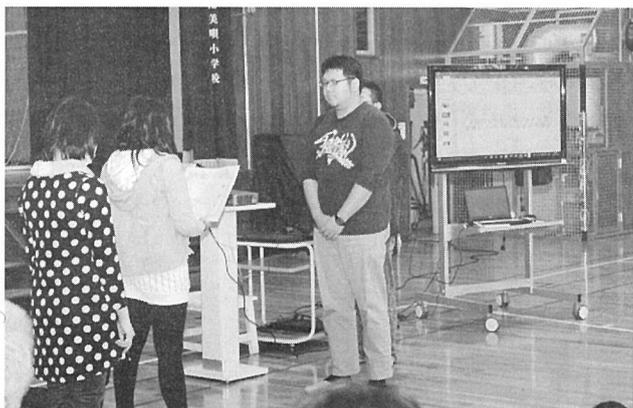
翁の親戚で、貧しく下男をしていたものが、国に帰るためにいとまごいをした。その時翁はいわれた。私が若い頃、初めて家を持ったときに、一枚の鍬が破損してしまった。隣の家に行つて鍬を貸して下さいといつたら、隣のじいさんは、今この畑を耕して菜をまこうとするところだ、まき終わらねば貸してやれないという。私は家に帰つても別にすることがないから、私とその畑を耕してあげましょうといつて耕して、それから菜の種をお出しなさい、

ついでにまいてあげましょうといつて、耕した上にまいて、その上で鍬を借りたことがある。そうしたら隣のじいさんは、鍬に限らず何でも差し支えのことがあつたら、遠慮なくいつて下され、必ず用立てましょう、といったことがあつた。こんなふうになれば、百事差し支えのないものだ。そなたが国に帰つて、新しく一家を持つたときに、必ずこの心得でやるがよい。そなたはまだ元気盛りだ。一晩中寝なくても障りはあるまい。毎晩寝る暇をさいて、精を出してわらじ一足でも二足でも作る。そうしてあくる日、開墾地に行つて、わらじのきれた人、破れた人にする。受け取つて礼を言われなくても、元々寝る暇に作ったものだから、寝た分と思えばよい。礼を言う人があれば、それだけの徳だ。もし一銭半銭を礼にくれる者があれば、これまたそれだけの利徳だ。よくこの道理を感銘して、連日怠らなければ、一家確立の志の貫かれぬ筋合いはない。何事でも成就しないはずはない。私が幼少の時の努力は、これ以外になかったのだ。肝に銘じて、忘れるでない。

(夜二十)

**南美唄小学校収穫祭に  
青年部招かれる**

11月18日、南美唄小学校で収穫祭が開催され、田植え・稲刈り・脱穀体験を対応してきた当JA青年部が招かれ、同校の児童や父母らと共に昼食のカレーライスをご馳走になりました。招待された青年部を代表して伊藤部長と上島営農専門委員長の2名と担当の安西職員が参加しました。



5年生代表から感謝状を受ける伊藤青年部長

この収穫祭は、同校の畑で全児童自らがじゃがいも、人参、枝豆等を作り、5年生は当JAで峰延小学校と合同で米作り体験を行った活動を全校児童と父母の前で発

表し、収穫した野菜や米を使って昼食のカレーライスを作り全員で食べるというものです。

収穫祭は同校体育館で午前11時30分から始まり、学年毎に野菜作り活動の発表を行い、続いて5年生の代表から米づくりの仕方を指導した当JA青年部に対して感謝状の贈呈がありました。

カレーは朝から高学年の児童が作ったもので、活動発表を行った体育館に全児童と約30名の父母が一同に会し全員で食べました。参加した伊藤部長と上島営農専門委員長、安西職員は美味しいとおかわりをしていました。



カレーライスを食べる  
伊藤青年部長と上島営農専門委員長

**農業用廃ビ・廃プラ回収  
青年部が実施**

10月29日、JA青年部が農業用廃プラスチック類の回収を行いました。今回の回収は、6月24日に続き本年2回目の回収となります。青年部の皆さんは、肌寒い中を早朝から各担当作業にキビキビと当たっていました。

回収したのは、使用済みのハウスピニール、マルチ、育苗箱、肥料袋等で、98人の組合員の皆さんから12、605kgの産業廃棄物を回収しました。峰樺3区の農産物検査場所に集められ、排出者



排出者(組合員)毎に重量測定

(組合員)毎に重量を測定・記録した後に種類毎に分別して運送会社の大型トラックに積み込まれ苦小牧の産業廃棄物処理業者に搬送されました。

回収した廃プラは固形燃料として産業廃棄物処理業者が運営する苦小牧にある火力発電所で再利用され化石燃料の代替燃料として有効利用されます。

JAでは、生活環境を守り「環境にやさしい農業」を実践して安全・安心な農産物生産の実践を目指しています。



種類毎に分別

## 報徳講演会を開催

二宮尊徳7代目子孫  
中桐万里子氏を講師に迎え

10月31日、当JA三階大会議室で、二宮尊徳(二宮金次郎)7代目子孫である中桐万里子氏を講師に迎えて報徳講演会を開催しました。

講演会は「金次郎流 地域活性化の秘訣」心田(道徳)と田畑(経済)の実りへと題して、同氏が五代目の祖母から聞いたという私たちが知らなかった金次郎の人柄や実践の数々を混じえ、やさしく語りかけるような口調で90分間淀みなく話されました。



大勢が出席し熱心に聞き入りました

## 「一歩前に踏み出す」

二宮金次郎といえば、小学校の校庭脇にあつた薪を背負つて本を読みながら歩く姿を思い浮かべ、勤勉の象徴と思われているが、薪を背負う姿から働くことの大切さと一歩足を前に出していることに意味があつて、常に前向きに生きることが大切であると祖母から語り継がれてきた。逆境であつても現実と向き合いよく観察し、工夫し、実践することが大切というメッセージが込められている。大人になつた金次郎は、本から筆と帳面に持ち替えメモ魔となり、本の知識だけでは足りないと感じ、必要なのは現実の環境をよく観察・理解し、小さな変化に気付く感覚だと気付き、この感覚が実践へつながると伝えている。

## 「水車と川の理論」

金次郎の「半分従い、半分逆らう」という考えを、くるくる回る水車と川の流れに例え、水車を自分、川を相手と捉えて、水車は流れている川に飛び込み(従い)、次に回りながら川の流れに反する(逆らう)力を利用して、小麦を挽く等の新たなエネルギーを生み出している。流れている川を困難



と例えると、川という困難に飛び込むことは勇気の要ることで、飛び込まなければ何も始まらない。また、飛び込むだけで終わつたら何も変わらない。まず、川(困難)に飛び込み、流れ(困っていること)をよく見て、知って、受け容れる。そして、工夫・対策して水車を回すことでエネルギーが生まれる(困難を乗り越える)。「半分使い、半分逆らう」水車の理論は、敵を味方にする考えにも通じ、共生の考えにつながっていきます。

## 「敵を味方に」

ある年、農家が田植えの重労働

が終わりを一息ついていたある日、金次郎は茄子の漬物を食べて「秋茄子の味がする」と感じ、「最近、秋に咲く花が咲いていた」「これから盛夏を迎え青々と茂るはずの植物の葉先が枯れていた」と小さな変化に気付き、この夏は冷夏になることを予想し村中を駆け回つて村民を説得し寒さに弱い植えたばかりの稲苗を抜き、寒さに強い穀物に植え替えさせました。そして、その年は金次郎の予想通り冷夏がやってきました。その年から始まったのが天保の大飢饉です。

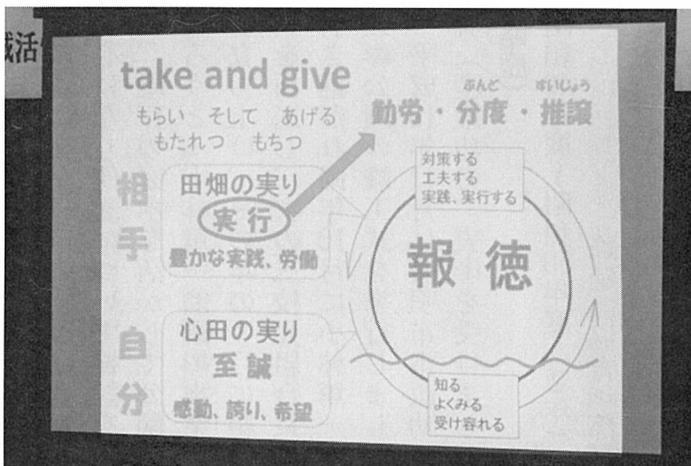
## 「宝物の語源」

宝物の語源は古い辞書を見ると「田んぼから生まれるもの」と載っている。田から生まれるものは作物で、作物は経済でもある。大自然と人間のコラボが絆をつくり文化歴史を刻む。宝物は金・銀・財宝のことではなく、何気ない場所から生まれるいろいろなものを言っている。田んぼには作物だけではなく雑草も育ち放っておくと世界中が荒地になり、皆で協力し



スライドを使ってわかりやすく

て田を作っている。自分を豊かに導く、楽にさせてくれるものは現場に戻ることに始めなければならぬ。  
 「テイクアンドギブが正しい」  
 ギブアンドテイクという言葉があるがこれは正しくない。これは見返り思想で、これだけ与えたのだからしてもらえろ！となる。これは人を不幸にする。テイクアンドギブが正しい。私たちは生まれてからずっと与えられて生きてきた。先人・先輩から、自然から、国からもらい続ける人生です。今は幸せだ、幸せだから恩



返ししよう。これが報徳の思想で、自分の幸せが他者を幸せにする。この心に田を耕すことに力を入れてほしい。幸せになるために頑張るのではなく、幸せだから頑張る。受けた徳に報いることが報徳。人づくりから街づくりが始まるので、まずは自分から未来へ恩返しを実践する。  
 何事もよく知り、工夫し、実践することを大切にして二宮尊徳（金次郎）の考えをお話いただきました。地域活性化のヒントがたくさんありました。

**新年常会は 1月6日(金)に開催**

平成29年1月の新年常会は6日(金)午前10時からJA三階会議室で開催いたします。  
 JA役員、農事組合長、青年部長、女性部長、農民協役員の皆さまは定刻までにご参集願います。  
 (総務課)



報徳訓を朗唱する中桐万里子さん

**中桐万里子さんが 11月常会に参加**  
 11月1日に開催した11月農協常会に、前日に報徳講演会で講師を担った中桐万里子さんが宿泊先から駆けつけ報徳常会の様子を見学しました。

**J A 駐車場の夜間・早朝の駐車禁止**

当JAをご利用いただくお客さまの駐車場は、本部ビル裏と横(旧まる川食堂等跡地)、JR峰延駅周辺、営農事務所前などにありますが、冬季間はこれらの駐車場の除排雪作業を行っています。

除排雪作業は当JAが委託した業者が行っていて、除排雪作業はJAの営業時間外に行うため、JAの営業時間終了後から翌日朝8時頃までの時間帯に駐車をされずと除排雪作業の支障となりますので、この時間帯の駐車は厳禁といたします。

何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

(総務課)

**平成29年のカレンダー・手帳進呈**

JA峰延では、組合員の皆さまに進呈する平成29年のカレンダーとポケット手帳の配付を農事組合長さんをお願いしています。各農事組合長さんには組合員宅1戸に各1冊ずつの配付をお願いしていますので、この時は1戸で2人以上組合員にご加入いただいている方全員には行き渡りません。

当初の農事組合長さんの配付で行き渡らない方で、カレンダー、ポケット手帳をご希望の方は誠に恐れ入りますが、当JA二階事務所までお越しいただき職員にお申し付け下さいますようお願いいたします。

なお、用意した数量には限りがありますのでお早めにご受け取られますようお願いいたします。

(総務課)

岩間啓一 元組合長を偲んで



平成13年度から18年度まで当JAの組合長を務められた岩間啓一さんが11月7日に76歳で逝去されました。

人情味厚く、誰に対しても誠意、公平無私で誰からも慕われていました。強いリーダーシップと行動力で組合員の負託に応えようと様々な農協事業に取り組み峰延農業の振興発展にご尽力されました。岩間啓一さんが取り組んだ主な事業を紹介します。平成15年に始めた「朝取り野菜事業」は「新鮮で安心な野菜の供給は普段農家の食卓にあがる自家野菜にある」との思いから取り組みを始め、コープさつぽろの近隣店舗などに納品、現在では野菜以外に米も納品し大きな取扱額になっています。特色ある米生産に取り組むため、ハーブ苗の供給を続けハーブ米の取り組みを拡大しハーブ米の知名度を確立しました。平成19年の年

初めに小林家から峰延本町の土地等の寄贈を受け、岩間啓一さんが中心になり使途について検討を重ね、既存の庭木を活かして公園を造ろうと「小林篤一翁顕彰事業」を立ち上げ、その年の3月に組合長を勇退し、次の三枝元組合長に引き継がれ同年10月に小林篤一翁顕彰公園の竣工式を挙行しました。

平成19年11月に美唄市市政功労者（産業功労）表彰を受けました。

（略歴）

昭和49年度～昭和50年度（2年）

峰延農協青年部長

昭和59年～平成元年（6年）

峰延農民協議会委員長

昭和58年度～平成3年度（3期9年）

峰延農協理事

平成7年度～平成12年度（2期6年）

峰延農協代表監事

平成13年度～平成18年度（2期6年）

峰延農協代表理事組合長

岩間智代さんから

善種金に推薦

岩間智代さんから、過日他界されたご主人啓一さんが生前お世話になった峰延農協と組合員の皆さまに感謝を申し上げますと善種金に10万円の推薦をお受けいたしました。

28年産米作況（10月15日現在）

農林水産省が10月28日に発表した本年産米の10月15日現在の作況指数は、全国が「やや良」103で前回（9月15日現在）と変わらず、10a当たり予想収量は544kgとなりました。北海道の作況指数は前回発表の103から1ポイント下がり「やや良」102、10a当たり予想収量は前回から6kg減り551kgとなりました。

南空知は作況指数が102で前回と変わらず、10a当たり予想収量は前回から6kg減り540kg、北空知は作況指数が102で前回と変わらず、10a当たり予想収量は前回から6kg減り572kg、石狩は作況指数が103で前回と変わらず、10a当たり予想収量は前回から1kg減り542kg、上川は作況指数が前回から1ポイント下がり102、10a当たり予想収量は前回から5kg減り572kgとなりました。

道内は、8月上旬から中旬の高温で登熟が進んだが8月下旬から9月上旬の日照不足の影響で登熟がやや緩慢となり、作況が前回発表より1ポイント下がりました。

年末年始の営業時間のお知らせ

当JAの年末・年始の営業時間をお知らせします。皆さまのご利用をお待ち申し上げます。

業務部門	本営務部	事務部	ATM (現金自動預払機)	J A 生活店舗	峰延給油所	
月日	本営務部	事務部	左記のうち 金融・共済業務			
平成28年12月	29日(木)	9:00~17:00	窓口 9:00~17:00 現金替 9:00~16:00 為替 9:00~15:00	9:00~18:00	9:00~18:30 *29日から30分早く開店	8:00~19:00
	30日(金)	"	"	"	"	"
	31日(土)	休業	休業	休業	9:00~17:00	8:00~13:00
平成29年1月	1日(日・祝)	"	"	"	休業	休業
	2日(月・振休)	"	"	"	"	"
	3日(火)	"	"	"	"	"
	4日(水)	"	窓口 9:00~17:00 現金替 9:00~16:00 為替 9:00~15:00	9:00~18:00	"	"
	5日(木)	"	"	"	10:00~16:00 【初売り】	8:00~19:00 【初売り】
	6日(金)	9:00~17:00 【新年常会10:00~】	"	"	9:30~17:00	8:00~19:00

\* 1月7日(土)以降は全業務が通常の営業時間となります。

## 農協職員認定試験に合格

JA北海道中央会が平成28年度農協職員資格認定試験（基本資格）初級の合格者を発表しました。道内の受験者数は829人で合格者は519人。北海道の合格率は62.6%で全国の57.7%を上回る結果となりました。

当JAの合格者は次のとおりです。合格おめでとうございます。

## ◇初級（7人）

- ・奥山翔平（営農販売課）
- ・辰田智子（共済課）
- ・笹谷 健（融資課）
- ・新田真代（総務課）
- ・菊地和矢

（販売企画課／営農資材店舗）  
葛西義奇

（販売企画課／営農資材店舗）  
大泉恭介（販売企画課／精米所）

## JA役員研修報告

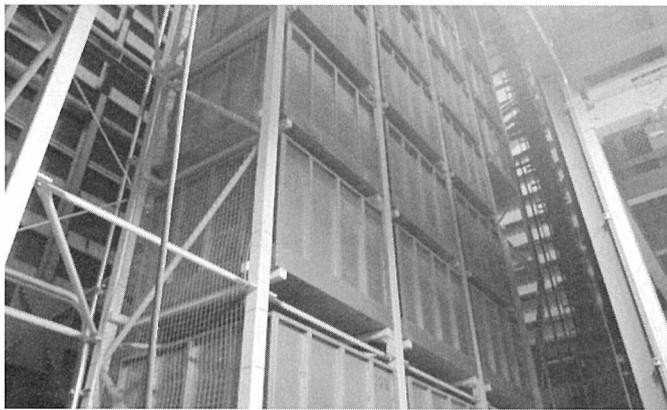
11月10日から1泊2日の日程でJA役員研修を実施しました。

研修先は、JA苫前町の豆類乾燥調製施設です。

苫前町の耕作面積は約3千haでその内約800haが水稲、約200haが南瓜、メロン等の蔬菜

でほぼ100%がYES!climateの認証を受けています。苫前町は年中風が強く年間平均風速が4mあり風力発電によるクリーンエネルギーの町として有名です。また、農作物以外に酪農が盛んで1100haの広大な牧草地で乳牛が飼育されていて、良質な堆肥が容易に入手でき、日本海から吹き付ける強風で害虫の発生が少なくクリーン農業に適した地域となっています。

昭和60年頃から、基幹作物の水稲とメロン等の野菜による転作で経営を行ってきたが、平成11年頃



ラック式乾燥機の内部

から農家戸数の減少による1戸当たりの作付面積の増加から土地利用型作物である小麦や大豆の作付が急増し、補助事業を活用し調製施設や倉庫の整備を行いました。

当初の豆施設は平成9年に50ha規模で建設されましたが、大豆の作付面積が平成14年に150ha、平成17年に200haに増加し、近い将来に310haになると予想され既存の施設の処理能力を大きく超え、また老朽化が進んだことで平成19年に施設の新設が検討され、平成21年に今回視察した施設が新設されました。

視察した豆類乾燥調製施設は処理能力が大豆525ha／受入日数82日、小豆195ha／受入日数23日、施設の新設に際して3つのコンセプトを掲げ、豆類も米や野菜と同等に実需者に対する配慮が必要であるとの考えから、①トレース管理、②コンタミ防止、③商品化まで可能な調製能力に対応した施設となっています。1コンテナ1単位で乾燥可能なラック乾燥システムを取り入れ、同時に乾燥出来る量は1コンテナが3列10段で30コンテナ、別ロット・別品種・別作物がコンテナ毎に水分

と乾燥時間が管理され、一定時間で天地返しを行うことで個別のロット形成でも品質ムラが生じないようになっています。1コンテナ単位で乾燥することで生産者同士の豆が混ざることがない個人完結でトレース管理が可能、栽培履歴は作業毎に生産者が農協に電話連絡し全て農協で記入管理され完全な追跡が出来ています。他産地との差別化を図ろうと、施設で調製した豆はそのまま店頭に並べられるレベルまで調製するために、タピオカ式クリナー、比重選別機、フルカラー色彩選別機を導入。施設内のコンタミのリスクは、ラック式乾燥機で完全個別調製により混入リスクは低く、1件の調製が終わる毎に全ての昇降機はエアフロー清掃され徹底した管理が行われています。現在は全量契約生産で必要とされる品種を必要数量だけ作付、産地ブランドを守るために管理の悪い圃場・生産者には作付を禁止する厳しい措置をとっています。

# JAグループ通信：大会実践フォーラム特集号 No.5



毎月、JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介しておりますが、今回は、11月2日に開催したJA北海道大会実践フォーラムで発信した「JAグループからのメッセージ」をお伝えします。

「JA北海道大会実践フォーラム」では、昨年の第28回JA北海道大会の決議事項に対する実践機運を高めること等を目的に「農業所得20%増大」と「550万人サポーターづくり」をテーマとするパネルディスカッションと、JAグループからのメッセージとして決議事項の実践状況を発信しました。

## JA北海道中央会

私たちは大会決議事項である「所得20%増」「担い手倍増」「サポーター1550万人づくり」「JAグループの人づくり」等、息の長い取り組みを続けて行かなければなりません。

今後、協同の理念のもとで着実に実践を積み重ね、農業・JAの意義をグループ内外に積極的に発信し続けながら、北海道農業の価値を高めて行くことで道民や国民に信頼され愛されるJAグループになることを目指します。



## JA北海道信連

新規担い手倍増、農業所得増大の取組として、各連合会が連携しての「後継者親元就農」「ICT導入」等へ助成支援する「担い手確保・育成支援事業」の実施や後継者等向けに借換による償還負担軽減を図る資金を創設しました。

また、550万人サポーターづくりとしてコンサドール通帳の発行、親子料理教室、「ドドーン貯金」



室、「ドドーン貯金」の実施等、JAファンづくりに取り組みました。今後も選ばれるJAバンクを目指して取り組んでまいります。

## ホクレン

「販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営」を基本戦略とし、「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」の実践を通じて「農業所得の向上」を目指すとともに、経営の合理化による配当の向上、主要品目全般における手数料の引き下げ、

各種奨励施策の実施など、生産者・会員JAへの最大限の還元を努め「皆様に選ばれるホクレン」を目指します。

基本戦略  
販売・購買・営農支援を三位一体



## JA共済連北海道

「相互扶助」を事業活動の原点に「ひと・いえ・くるまの総合保障」により、組合員・利用者が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しています。

今後も引き続き農業経営に貢献する取り組みと、JA支援の強化を重点事項として、地域密着の社会貢献活動を展開しながら

組合員・利用者との結びつきを深めてサポーター1550万人づくりに取り組みます。



## JA北海道厚生連

厚生連は、設立以来「農民の健康保持と生活文化の向上」を目指し、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに寄与してまいりました。

今後についても、地域のつながりを守る生活基盤としての機能発揮と、道民と食と農でつながるサポーター1550万人づくりへの貢献を「医療・健康管理・高齢者福祉・配置薬」の視点から推進し、取り組んでまいります。



**JA共済** JAの自動車共済 フリーダイヤル安心サービスのご案内

**ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは**

ご契約のJA(業務時間内)もしくは <b>フリーダイヤル 安心サービス</b> 24時間・365日対応	事故等の場合には JA共済事故受付センター ジコは クミアイ <b>0120-258-931</b>
	レッカー移動や 故障時の応急対応が 必要な場合には JA共済サポートセンター レッカーロードサービスは クミアイ <b>0120-063-931</b>

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

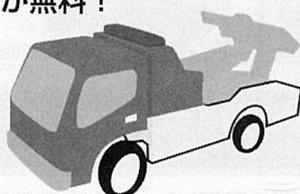
電話料金は無料です。公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

**安心の5つのサービス**

**1 レッカーサービス**

現場から30km以内のけん引が無料！

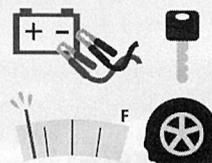
事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。



**2 ロードサービス**

30分程度で対応可能な応急対応が無料！

故障・ガス欠等により自力走行不能となった場合に、修理業者が現場へ急行し、お車の応急修理を行います。



事前にJAまたはJA共済サポートセンター(JA共済事故受付センター)に要請された場合に本サービスの対象となります。(ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります)

※トラブルの状況や手配内容によっては、お客さまに費用のご負担が発生する場合があります。  
 ※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービス利用者のご負担になります。  
 ※JAF会員であるお客さまについては、お客さまのご了承のもと、JA共済事故受付センターまたはJA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から45キロまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について4,000円を限度にサービス対象範囲とします。

**3 夜間休日  
現場急行サービス**

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービスの受付時間は、平日：17時～23時、土日・祝日：8時～23時です。  
 ※事故現場からお電話いただき、お客さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。  
 ※原則として、対応員の出勤拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路上一等一部の場所は本サービスの対象外となります。  
 ※JA共済より業務委託を受けた民間警備保障会社の対応員が急行します。

**4 夜間休日  
初期対応サービス**

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがお客さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。

※本サービスの受付時間は、平日：17時～21時(対応は22時まで)、土日・祝日：9時～21時(対応は22時まで)です。  
 ※対人賠償事故(人身傷害事故含む)、対物賠償事故、車両諸費用保障特約の付いた車両単独事故が対象となります。

**5 休日契約者  
面談サービス**

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがお客さまを訪問し事故に関するご質問・ご相談に親身におこたえします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～0時、土曜・終日、日曜・祝日：0時～17時です。  
 ※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。  
 ※JA共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

**24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。**

■各種サービス共通の注意事項(サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。)  
 ※交通事情、気象状況等により、サービス業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。  
 ※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。

お車に関する  
ご相談は

# JA共済自動車指定工場にご連絡ください!

## JA共済自動車指定工場 (JARIC) 特別サービスのご案内

現在、JAから紹介された場合には、下記の特別サービスを提供しております。

### 事故車修理時の特別サービス

#### ①引取・納車無料サービス

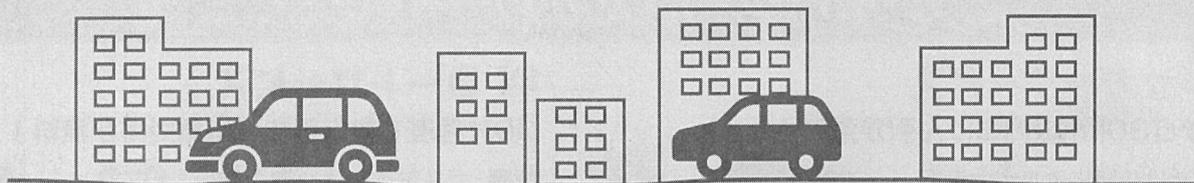
ご希望に応じて、事故車両の引取から納車までを無料で行います。

#### ②代車の優先・無償提供

入庫・修理を行う契約車両の代替として、修理期間中の代車を優先かつ、無償にて提供します。

#### ③修理保証書の発行

入庫・修理を完了させた場合には、修理箇所を保証する修理保証書を発行します。



※工場の状況により、一部サービスをご提供できない場合もございますので、予めご了承ください。

まかせて安心!  
まずはお電話  
ください。

**JARIC** JA共済自動車指定工場協力会 (JARIC) 空知支部

<南空知地区>

(有)美装車輛工業

岩見沢市大和2条2丁目1番地

TEL:0126-23-1879

(株)ホクレン油機サービス  
岩見沢支店

岩見沢市4条東15丁目3

TEL:0126-22-4442

いわみざわ農協  
自動車整備工場

岩見沢市北村豊里257-11

TEL:0126-56-2229

(有)三笠自動車

三笠市いちきしり88-2

TEL:01267-2-2387

(株)長沼機械センター

夕張郡長沼町東町北1丁目2-3

TEL:0123-88-2366

金山機械(株)

夕張郡由仁町北栄176番地

TEL:0123-83-2126

(株)高橋ボデー工業

美唄市進徳町1区

TEL:0126-63-3690

提供：JA共済自動車指定工場協力会 空知支部